全国障害者問題研究会
第49回全国大会 岐阜2015

速報用特設ページです。
こちらからどうぞ→
岐阜教組のHPを貸りています。

No.16号

ちょうちん

最終号

来年は京都で！

熱い京都でお待ちしています！

８日の夜、岐阜から京都への引き継ぎを行いました。

京都支部の石田誠です。準備委員会の事務局長です。
与謝の海支援学校の教員です。
まだ若いですが、名だたる京都の先輩たちに推され
事務局長をしています。
赤いおにぎりＴシャツを着て、燃える情熱でがんばります。
来年の京都大会は５０回の記念大会です。
熱い京都でお待ちしています。

がんばれ誠ちゃん！

大会アピール　国民のみなさんへ

障害者の生きる権利、発達する権利は、戦争を是認する体制の下ではけっして実現しません。戦後70年、そして全障研結成50周年を目前にした今年、日本国憲法にこめられた平和と人権、民主主義の理念を守り、生かすか、それを敵視し戦争への道を歩むのかが鋭く問われています。

安倍内閣は、7月16日、「戦争法案」を衆議院で強行採決しました。

しかし今、学生、学者、母親、高校生、障害者などさまざまな市民が、国会前やそれぞれの街頭で、民主主義と平和を守ろう！と大きくアピールしています。それは、国民的な運動として数週間で急激に広がり、世論を変えています。

私たちは、こうした運動と連帯しつつ、障害者の権利保障、発達保障の課題を深く学び、憲法と障害者権利条約を今日に生かす道をともに歩みたいと思います。

8月8日、9日の2日間、全国各地の実践と運動の成果が、「日本のまん真ん中」岐阜の地に集まりました。

第49回全国大会は、

輝け！　いのちと平和

語ろう！　発達保障とインクルーシブな社会

つながろう！　日本のまん真ん中で

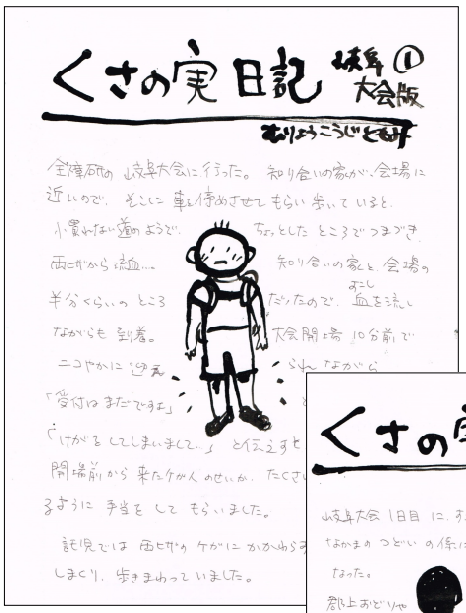
をテーマに、2500人がつどい、学び合い、語り合い、交流することができました。

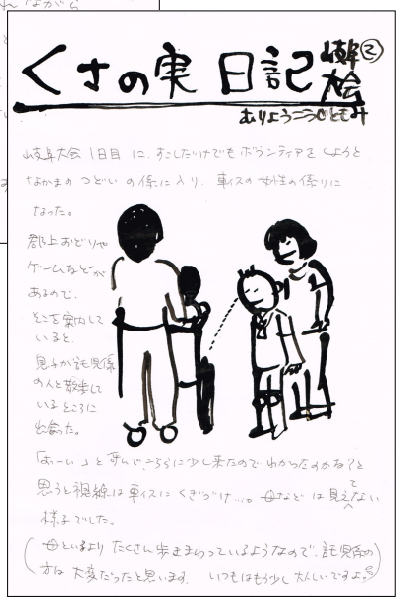
台風のため分科会を中止せざるを得なかった昨年の滋賀大会以降、全国各地で提出レポートを学ぶ学習会等が開かれました。そのなかで、レポートをていねいに学ぶことの大切さを改めて確信しました。レポートに書かれたこと、学習会で語り合ったこと、それらは、一人ひとりの直面する不安や悩み、つらさかもしれません。それらを聴きとることを通し、私たちはひとりのねがいをみんなのねがいにし、みんなのねがいを運動にしてきました。そうしたとりくみの上に、今大会には164本のレポートが提出され、どの分科会も活発な話し合いができました。

私たちは、大会で学んだことを、地域や職場、学園にもちかえり、多くの人と手をつなぎ、社会を動かすうねりをつくりだしていきます。

権利保障と発達保障、自由と民主主義、平和のため、今、一人ひとりが力を発揮していきましょう。

2015年8月9日　全国障害者問題研究会第49回全国大会





全国大会に参加されたお母さんが、子どもの様子を「くさの実日記　岐阜大会版」として書かれました。

速報用特設ページからみれるようにします。
ぜひご覧ください。

参加者の皆さん　ありがとうございました。

二日間の大会、お疲れ様でした。

もうすぐ岐阜大会が幕を閉じます。

私たちの３年間の成果はいかがでしたでしょうか。準備委員を含めて、４００名を超えるスタッフがそれぞれの持ち場で、精一杯の力を出し切りました！いたらなかったところは、ご容赦ください。

来年は京都大会です。エールを込めて、岐阜から京都へバトンを渡します。

全障研岐阜大会準備委員会

事務局長　若井基一

ＰＳ　気をつけてお帰りください。

さようなら。

ありがとうございました！

岐阜大会準備委員会一同

速報にご協力ありがとうございました！